

栗東市で署名活動

新幹線栗東駅の是非は住民投票で

8528署名(有権者の19%)



栗東市において、「新幹線栗東新駅」住民投票条例の署名活動が行われていました。十一月四日に、8528人分の署名簿が栗東市選挙管理委員会に提出されました。署名数は法定数の9.6倍。有権者の19%にも達しています。

新駅設置の白紙や凍結の声が強まるなか、あくまで建設に固執する滋賀県と栗東市に対して、市民・県民の意思が明らかになる結果となりました。

誰のための公共事業なのか

駅舎建設の240億円は、すべて地元負担とすること、「この額が高すぎる」と草津市長の発言や、野洲市長も「多額の負担金を出すのは、住民の理解が得られていない」という発言や大津市長が「促進協議会から脱退する」と表明しているなど、負担金に難色を示しています。

しかし根本的に、誰のための公共事業なのかが問われています。

駅より暮らし充実がみんなの願い

地元栗東市で、有権者の19%の署名が集められ、「駅より福祉・暮らし・教育・環境の充実を」「30年、50年先のあてにならない繁栄より、いま子どもの命を守る施策を」「大事なことはみんな決めてよう」など、保守・革新問わず、大きな住民の声が結集されました。この声は、野洲市でも同じです。今年三月に凍結を求める13000人の署名を、栗東市議会が7対12で否決しており、今回どのような判断するのか注目されます。

野洲市予算要望 今週に提出します

みなさんの「要望」をお寄せください

日本共産党野洲市委員会と同議員団は、二〇〇五年度野洲市の予算についての要求をおこないます。みなさんの、福祉・医療や教育、環境、農業と商工業など、ご意見・ご要望をお寄せください。暮らしの要求実現へがんばります。

幼稚園三年制早期実現を 行政の保護者説明で混乱



幼稚園三年制の早期実施は切実な願いです。日本共産党は、野洲町議会（当時）などで、野並享子議員が一貫して早期実施を主張してきました。これに対して当局は、「十七年度は三上・篠原・野洲幼稚園で、祇王・北野幼稚園は十七年度に園舎を増築し、十八年度から実施する」と言う答弁を繰り返してきました。

ところが、十月十四日、祇王・北野幼稚園の保護者説明会では、「十七年度から三年制を実施する」と表明。教育委員会の説明によると、「北野は空き教室がないため、増築工事が完了するまで小学校の空き教室を利用。祇王はランクルームを利用する」というものです。このような不十分な保育方針に保護者から強い批判・不安が出されました。これを受けた十五日の教育委員会では改めて、十七年度からの三年制実施は無理という結論を出しました。

三年制が実施されると喜んだ保護者から、「三転三転」する行政の方針に怒りの声があり、十一月四日の議会全員協議会で教育委員会の姿勢を正しました。「混乱を招いたことをお詫びします」という発言をしましたが、行政の失態で犠牲になったのは住民です。

やす民報

発行 日本共産党野洲市委員会
2004年11月14日 No.5

市政へのご意見・ご要望、暮らしの相談をお気軽にお寄せください

小菅六雄 (住所) 比江668-3 (TEL) 589-4971 (FAX) 589-6184
野並享子 (住所) 北野1丁目7-10 (TEL) 587-0985 (FAX) 586-1102